



週報

■3月は、『水と衛生月間』

第1515回例会 2018年3月15日 Vol.32/No.33

■本日の例会／第1516回 平成30年3月22日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 海南RC
- 会員卓話・甲斐孝則 会員、松田くるみ 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………53名
- ・出席者……………36名
- ・欠席者……………17名
- ・出席率……………67.92%
- ・3/1の修正出席率…73.58%

■会長挨拶



田中 寿 会長

最近、就職戦線・求人事情が売り手市場だとか求人難だという話題で持ちきりですが昨日までの3日間鹿児島県の私立高校でのセミナーをやってきました。そこで感じたのは売り手市場とは言うものの、以前とは違った問題なども顕在化しているようです。

この学校は、最近教職ではない社会経験の永い人を就職指導専任職員として、雇用していました。ハローワークでの求人だけでなく、学校が直接企業を見て求人を出してもらい、学校が職場をみて生徒を送り出すという事を考え始めているようです。

これには、昨年くらいから企業も人手不足という事で極端に言えば手当たり次第に、数を求めているような状況が発生しており、特に高校生の場合ミスマッチを起こして早期離職になるケースも増加しているのが現状です。厚労省の調査では以前高校生の早期離職率が50%程あったものが、いろいろと対策を打ってきたこともあり40%を切るところまで来ていましたが、実際のところ昨年あたりはかなり高くなってきているという現象すら顕れているようです。これにはいくつかの原因があり、先ず一つは高校での教員による就職指導が追い付いていない、現実に即していないことが挙げられています。昨年の例ですが例えば生徒が製造業を志望した場合に持つイメージはラインでの作業しかないのが実情です。

そこで、製造業に就職させたわけですが、その子の能力を評価した企業側は事務系の部署に配置したわけですが、しかしその子は私は製造業に来たんだ事務職はしないと数週間で離職してしまったという実例があります。

これは学校での指導不足が原因であり、業種と職種の違いができていない生徒がおり起きた残念な出来事です。教員にはそこまでの指導をする時間もな

く、そんな社会性を高める授業の科目すらないことが大きな要因です。

求人倍率をみても昨秋の時点での状況でいえば、高校新卒で見た場合、宮崎は1.6程度なのに鹿児島は2.4くらいはあるといったように、地域格差も大きくなっていることも見逃せません。

そのような中で、大学生の内定率も売り手市場という割には高くなっていない現実があります。これは学生の個人差の問題と4月に一括採用することを辞めた企業や、キャリア採用に変えつつある大企業や地場大手の採用傾向があると言えるようです、こういって上で考えた時、地方の中小企業や地場企業の採用状況は大きく変わってくることを予測しないではられないという気がしております。

■幹事報告

生駒俊明 幹事



ガバナー候補者(ガバナーノミニ・デジグネート)推薦のお願いが来ています。締切は2018年6月20日(水)必着になっております。よろしくお祈りします。

海南東ロータリークラブからお酒が届いております。3月の観桜会(夜間例会)時にご堪能下さい。今月3月21日～22日に来訪される。

■米山奨学金授与式

ハナ アカリ アリフィン 様



■会員卓話



黒木陽子 会員

こんにちは。黒木陽子でございます。

さて、今日は日常で思うところをお話させて頂ければと思います。

一昨年のことですが、突然に警視庁から携帯に電話が入りました。ドキッとしながら電話でお話したのですが、それは警視庁の紛失物センターからでした。私とその3カ月ほど前に東京でなくしてしまい届け出を出していた落とし物らしきものが見つかったとのこと。それはイヤリングなのです！

声の主は、「届け出の住所に送りますので確認して、該当物であれば書類を送ってください」と言い、その一週間後、本当に私のイヤリングが手元に返って参りました。

あの東京で?!と驚くとともに、オリンピックの招致活動で「落とし物が戻ってくる国」と言っていた言葉を思い出し、心から感動しました。

このイヤリングを拾い届けて下さった方、ナンバリングして保管して下さいました方、壊れないようラッピングして送って下さった方、いろんな方々の手を通して戻ってきたと思うと、感謝と感動で心が満たされる感じになりますし、本当にすごい社会システムの中に生きていることを実感致します。有難いことです。

今日はそのオリンピックに向けての社会変化について感じていることを少し・・・。

あと2年後に迫ったオリンピックを意識する場面が多くなって参りました。

私が、東京出張で常宿にしている日本橋のホテルの近くでは、オリンピックまでのカウントダウンボードができました。全国的に交通インフラも整備されつつあり、あちこちの空港が増設・リニューアルしています。また、都内のタクシーの“形”も外国人旅行者用にどんどん変化してきました。

そして、日本橋小学校の先生の話では、子供たちが外国人から道を聞かれたらしっかり応えることができるようにと、すすんで英語を勉強しているとのこと。また企業でも、オリンピックそして働き方改革とも相まって、在宅ワークを進めているところが増えてきました。

少し話が変わりますが、宮日新聞でも連載で取り上げられているLGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)、背景にオリンピックも関係してるのをご存じだったでしょうか?オリ・パラ

のスポンサー企業になると、企業文化や風土が問われてきます。人権等についてどのような姿勢を持っているか、そういった視点からもLGBTが取り上げられているのです。昨年、経団連が「ダイバーシティ・インクルージョン社会に向けて」の提言を出しましたが、その中でLGBTの企業の取り組みの方向性が明記されています。例えば、大和ハウスはオリ・パラのオフィシャルパートナーですが、以前のCMと雰囲気がからっと変わり、ワンスカイ(私たちは同じだ、私たちは違う)というCMで、人種やLGBTへの理解を促す内容になっています。

LGBTについて、仕事の中で思うことがあります。学生時代、私たち学生と教授と地域の社会福祉協議会の方々とで地域でのボランティア活動をしていました。主に、ダウン症や自閉症の子供たちやその母親たちと遊戯による人間関係構築のトレーニングをしていく活動です。当時、お母さんたちの明るさや強さに本当に感動しました。生まれて間もなく医師から障害が告げられ、母親として「自分がなんとかしなくては…」の強い愛情のスイッチが入り、あの前向きな姿勢が生まれるのだと思います。

一昨年、LGBTの子供を持つ母親の集まりに参加させて頂きました。学生時代に感じたあの雰囲気とは全く違い、何か重苦しく抑圧的な感じがしました。子ども達のカミングアウトが思春期から大人になってからということもあり、母親も40代～50代、告げる側の子供も苦しく、告げられる母親も計り知れないショックで、自分の子育てや人生を責めてしまうのです。うつ病や引きこもり状態になってしまうお母さん方もおられます。

私は、精神科で4年間、心理カウンセラーとして勤務した経験があります。LGBTの方々の中で性同一性障害と診断名がつく方がいます。それは障害というよりも個性だと私は思います。ならばどうして、そういう方々が病院を受診するのかと言えば、イジメやハラスメントの対象となって二次障害としての“うつ病”等を発症するからなのです。

コミュニティーの中でなかなか理解してもらえない、家族にも受け入れてもらえない苦しさを、病院で、学校で、企業の中で、本当にたくさん聞いてきました。

LGBTの方々の割合は7.6%と言われ、13人に一人とも言われています。

最近では、芸能人のアミューズメントや、ドラマの

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

テーマにもなっていており、より身近にも感じていることと思います。宮日新聞にも連載されていますね。また、その流れをビジネスチャンスと感じ、家電製品開発・美容業・飲食業が対応しはじめ、その市場は5兆円を越す規模とも言われています。

県の電話相談を、16年近くやっていますが、ここ2年「実は、自分も…」とその悩みを相談される方々も増えてきました。電話相談は、顔も見えず匿名での相談なので、その悩みを語りやすいのだと思います。

そんな中で、自治体や企業の中で対応するところも徐々に増えてきています。渋谷区や世田谷区、沖縄は、同性パートナーシップ条例があります。札幌や文京区は、地方公共団体の入札には、そういったことが取り組まれている企業かどうか問われるようになりました。また企業の中でも「配偶者手当」を「パートナー手当」として対応するところも出てきました。様々な変化を感じ、社会が動いていることを実感します。

私が生まれた昭和39年も東京オリンピックの年でした。「もはや戦後ではない」と経済成長がおこり東京オリンピックがさらにその経済成長を後押しし、経済を創りあげた歴史があります。

2年後の東京オリンピックも、社会がその成熟に向けて大きく変化し、一人ひとりが“その人らしさ”で活き活きと働ける社会の実現を願いながら、日々の自分の仕事を進めて参りたいと思います。

ご清聴、ありがとうございました。

田中正訓 会員



U18W杯は奇数年開催となり、アジア選手権も10回大会から偶数年開催となる。

9/3(月)～9/10(月) 予備日入れて8日間で22試合

宮崎入りは9/1で10泊11日の日程 関係者入れて延べ2,400泊予定

侍ジャパンは8/25宮崎入り予定

日本開催は3回目 ①98年第3回大会 大阪
②2011年第9回大会 横浜以来

九州地区初開催 前回11回は台中 前々回10回はバンコク

日本は過去5回優勝 1,3,6,9,11回大会 2大会連続6回目の優勝狙う 連覇すれば初

今年の侍ジャパンU18は選抜90回、夏100回の

記念の年で2000年生まれのミレニアム世代代表。

MRT開局65周年記念として誘致に成功 経費は約1億円

2014年第6回IBAF女子野球W杯、去年は東京六大学野球オールスター戦誘致。

侍ジャパンは昨年も10月にU24アジア大会前に、11月にはトップチームが2016年に続きアジアプロ野球チャンピオンシップ前に各々合宿入り

宮崎県では温暖で快適な気候と充実したスポーツ施設を生かし、四季を通じて様々なスポーツが楽しめる「スポーツランドみやぎき」を推進している。

春季キャンプではプロ野球7球団 韓国プロ野球2チーム、Jリーグ20チームが合宿

宮崎から世界に情報発信できるイベントにした

出席委員会報告

甲斐裕隆 委員長

◆3/1メイクアップ者名 (敬称略)

江口健一、江島 寛、秦 喜八郎

ハッピーボックス (敬称略)

●佐藤龍三郎…誕生日のお祝いありがとうございます。早いもので、今年で66才になります。年をとると一年が早く一日が遅いと言われますが、そうならないよう仕事に精を出して一日が早く感じる生活を心がけていこうと思います。

●江島 寛…今日は私の66回目の誕生日です。思い起こしますと36歳で当クラブに入会して30年たちました。昨日は娘がシカゴのフライトを終えて帰ってきたので昼から二人でワインを一本半空けて前祝をしました。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明